

# 蔵王

題字 大久保伝蔵 氏

JCI 公益社団法人  
山形青年会議所

〒990-0042  
山形市七日町2-1-3 プラザビル七日町3F  
TEL (023) 632-8665  
FAX (023) 633-2219  
HP : <http://www.yamagatajc.or.jp>  
E-mail : [y-jc@macbase.or.jp](mailto:y-jc@macbase.or.jp)

No.307 2022年2月21日 ●理事長 吉田 昌平 ●編集 会員交流委員会

## 2022年 スローガン

【日本青年会議所】 愛が、希望に変えていく。

【東北地区協議会】 Create & Support !!

【山形ブロック協議会】 かけがえのない仲間と共に挑戦しよう! ~夢と笑顔溢れる「やまがた」の実現に向けて~

【山形青年会議所】 汲めども尽きぬ情熱を胸に ~自由と多様性溢れるやまがたの未来へ~



### ご挨拶

公益社団法人山形青年会議所  
2022年度 第67代理事長 吉田 昌平

平素より、公益社団法人山形青年会議所の活動に対し、ご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2020年より日本国内でも感染が拡大している新型コロナウイルスは、残念ながら2021年には収束せず、2022年を迎え、いま再び爆発的に感染が拡大しております。まずは、感染拡大以降、最前線でご対応いただいている医療従事者の皆様、また各自治体の皆様には深く感謝申し上げます。そして改めて、この難局を乗り越えるため、もうしばらくの行動制限や感染症対策徹底へのご理解をお願い申し上げます。

2021年は上記の通り、新型コロナウイルスが収束していない状況での活動を余儀なくされました。それでも、何も分からず、何もできなかった前年とは異なり、対策を講じながら、場所を変え、カタチを変えながらも、山形市をより良くするため、メンバー一丸となり各事業を実施してまいりました。

2022年、山形青年会議所は「汲めども尽きぬ情熱を胸に~自由と多様性溢れるやまがたの未来へ~」をスローガンとしております。終わらない苦難に屈することなく、私たちが綱領に掲げる「社会の課題を解決し、持続可能な地域を創る」ため、そしてミッションに掲げる「成長と発展の機会」をメンバーに提供するため、情熱を絶やすことなく、運動を展開してまいります。

まずは、持続可能なやまがたを構築するため、夏の風物詩となった山形大花火大会の開催や、多くの

方に参加していただく事業を構築し、やまがたの魅力を強く発信していきます。

そして、多様な社会課題を解決するため、私たちの多様性や対応力を向上させ、組織の活性化、組織の拡大化を目指します。

さらには、これから紡いでいただいた信頼と実績を受け継ぎ、また、国内外の都市との友好関係を強化し、パートナーとして、共に運動を力強く展開するため、会員や先輩諸氏との交流を活性化致します。

また、公益社団法人としての信頼をより確かなものにするためにコンプライアンス遵守を強化するとともに、昨今の社会変化に伴う様々な法令上、モラル上の社会課題解決への貢献を図ります。

さて、母集団の3.5%が非暴力的に行動した運動は全て成功しているという、「3・5%の法則」という研究結果があります。山形市民の3.5%は約8600人です。この研究結果は、私たちの運動で、市民8600人がより良く変われば、やまがたがより良く変わることを示してくれています。

私たちは自由と多様性が溢れる、明るい豊かなやまがたの実現に向けて、メンバー一丸となり、様々な活動へ尽力致します。そしてその過程で、必ずや、メンバー一人ひとりが成長し、その成果をご家庭、ご本業、そして地域に還元することをお誓い申し上げます。

これまで同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年もどうぞ、宜しくようお願い申し上げます。

## 2022年度 各委員会事業説明

### 1 持続可能な社会構築グループ

#### ● 花火大会特別委員会

やまがたの夏の風物詩として地域に根差した花火大会を開催することで、多くの人々へ感動を届け、やまがたへの郷土愛をこれまで以上に醸成し、やまがたの魅力と郷土愛を市民の交流活性化につなげていくことで、アフターコロナの未来に向けて永続的に発展し続ける原動力となる「不易流行する持続可能な社会」を実現します。

#### ● 地域活力向上委員会

やまがたの現存する価値の再認識や新たな魅力の発見を通して、市民の誰もが希望と誇りを持って住み暮らせる情熱と活力が溢れるまちを創造し、未来へとつながるやまがたが今まで以上の輝きを放てる「不易流行する持続可能な社会」を実現します。

### 2 組織活性グループ

#### ● 組織拡大委員会

拡大運動を行う体制を速やかに確立し、LOM全体の組織拡大に対する士気高揚させ、新入会員がJC運動へ希望を持ち、地域の皆様から我々の運動に賛共感を得られる時代に即した持続可能な新しい形

の『仲間づくり』を展開し、「汲めども尽きぬ情熱を持つ人材が結集する組織」を実現します。

### 3 交流推進グループ

#### ● 会員交流委員会

山形青年会議所の理念と運動の方向性を共有し、LOMの歴史を次代へとつないでいく交流を図り、同志として活動してきた姉妹JCと切磋琢磨し合える関係を築き、市民意識変革団体としての運動を通じた情報発信により地域における認知度向上につなげ、持続可能な交流様式を進めることにより「様々なパートナーシップで多様性溢れるまちやまがた」を実現します。

### 4 LOM運営グループ

#### ● 総務渉外委員会 ● 事務局 ● 財政審査局

適切な意思決定に基づく盤石な基盤を築き上げるため、堅実で円滑な諸会議運営を実現し、デジタルデータの活用を推進することで、先進的かつ効率的な運営が可能となる強固な組織を構築し、一元的な情報管理の下「時代や環境の変化に依らない持続可能な組織」を実現します。

## 2022年度 会員拡大LP紹介

本年の拡大テーマは「おおきなかぶ作戦！」です。私たちは、目まぐるしく変化するこの社会に柔軟に対応し、市民意識変革団体として多くの課題の解決と持続可能な社会の創造に向けて、多種多様な人材をメンバーに迎え入れ、永続的に運動を展開できる組織である必要があります。新型コロナウイルスの影響により経済活動が停滞する厳しい情勢の今、会員拡大活動に力を注がなければ、LOMは衰退の一途を辿ってしまいます。LOM全体で心をつなぐ多くの同志を巻き込んでいきましょう！皆様からの新入会員候補者情報のご提供を改めてお願い申し上げます！



LPサイト

## 新春賀詞交歓会式典御礼



会員交流委員会委員長  
浦山 高



式典動画

1月28日、今年最初の例会となります新春賀詞交歓会式典を開催致しました。当初は会場開催の準備をしておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて急遽現役メンバーに限定したWEB開催と致しました。一堂に会して、関係諸団体や先輩諸氏に日ごろの感謝と今年の運動方針を直接お伝えすることは叶いませんでしたが、例会を通してメンバーが心をつなぐことができました。様子の一部をWEBで配信しております。ご視聴いただき、本年度もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 京都会議報告



総務渉外委員会委員長  
吉田 英二

1月20日(木)～23日(日)開催の2022年度京都会議に参加してまいりました。本年も新型コロナウイルスの影響でWebでの参加となりましたが、第71代会頭中島土君の力強い所信表明を通じて、今年1年間メンバー一丸となって地域の不安を希望に変える活動を展開することをお約束し、ご報告とさせていただきます。

## 2022年度 正副常任理事監事紹介

理事長 吉田 昌平	直前理事長 三浦 真守	特別顧問 岩田 雄治	持続可能な社会構築グループ 副理事長 阿部 則裕	組織活性グループ 副理事長 田村 貴史	交流推進グループ 副理事長 高橋 将史
LOM運営グループ 専務理事 浦口 陽平	監事 奥山 竜士	監事 半田 直樹	花火大会特別委員会 特別委員長 長谷川 晃一	花火大会特別委員会 本部長 布施 翔太	持続可能な社会構築グループ 常任理事 中嶋 康博
組織活性グループ 常任理事 白田 圭一	交流推進グループ 常任理事 畑 秀生	LOM運営グループ 常任理事 岡崎 彌門	LOM運営グループ 常任理事 高橋 慶多	LOM運営グループ 事務局長 鈴木 健博	財政審査局 局長 黒金 一

## 2022年度 委員長・部会長 紹介

地域活力向上委員会 委員長 平原 万匡	組織拡大委員会 委員長 庄司 里沙	会員交流委員会 委員長 浦山 高	出向理事 今野 雄貴	総務渉外委員会 委員長 吉田 英二
花火大会特別委員会 部会長 安藤 裕紀	花火大会特別委員会 部会長 木村 達也	花火大会特別委員会 部会長 晋道 勇一	花火大会特別委員会 部会長 花輪 俊介	

## 出向者紹介

### 【公益社団法人 日本青年会議所】

スポーツの力委員会  
総括幹事補佐  
**高橋 将史**  
入会年度 / 平成 25 年  
勤務先  
榊高橋陶商

「スポーツの力委員会」に総括幹事補佐として出向させて頂くことになりました。当委員会はJ CカップU-1 1 少年少女サッカー全国大会の実施などを通し、スポーツの力でL O Mと地域をつなぎ、幸せを創出します。「真剣に、そして最高の笑顔で」本年度も実りある1年になるよう尽力してきます。

組織改革委員会  
委員  
**阿部 則裕**  
入会年度 / 平成 28 年  
勤務先  
阿部則裕法律事務所

組織改革委員会  
委員  
**林 勝俊**  
入会年度 / 平成 28 年  
勤務先  
東北シルク榊

運動プラットフォーム構築委員会  
委員  
**奥山 竜士**  
入会年度 / 平成 25 年  
勤務先  
ジブラルタ生命保険榊

スポーツの力委員会  
委員  
**白田 圭一**  
入会年度 / 平成 25 年  
勤務先  
山形アルミサッシ工業榊



### 【公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会】

顧問  
**三浦 真守**  
入会年度 / 平成 25 年  
勤務先  
南H L P

本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会に顧問として出向させて頂いております。本年度の東北地区協議会は、「Create & Support !!」をスローガンに掲げ、協議会の本来の目的である「会員会議所の支援」を遂行しながらも価値デザインの普及と脱炭素社会の実現、東北の次世代リーダー育成の運動を展開してまいります。1年間学びと経験を得てL O Mに還元できるよう邁進してまいります。よろしくお願い致します。

副会長  
**岩田 雄治**  
入会年度 / 平成 22 年  
勤務先  
榊城西電工

組織運動確立会議  
副委員長  
**中嶋 康博**  
入会年度 / 平成 29 年  
勤務先  
榊中島商店

組織運動確立会議  
委員  
**半田 将樹**  
入会年度 / 平成 29 年  
勤務先  
南半田組

総務広報委員会  
委員  
**荒井 竜弥**  
入会年度 / 平成 29 年  
勤務先  
榊弥五兵衛

総務広報委員会  
委員  
**堀越 悠輔**  
入会年度 / 平成 30 年  
勤務先  
ブルデンシャル生命保険榊

### 【公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会】

会長  
**岩田 雄治**  
入会年度 / 平成 22 年  
勤務先  
榊城西電工

本年度、山形ブロック協議会会長として出向させていただきます。岩田雄治と申します。本年度、山形ブロック協議会は「かけがえのない仲間とともに挑戦しよう！～夢と笑顔溢れるやまがたの実現に向けて～」をスローガンに掲げ、県内各地の志を同じくするかけがえのない仲間とともに、青年会議所の理念を共感し幅広く拡大させ様々な運動を力強く発信して参ります。一年間、精一杯努めて参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

運営専務  
**岡崎 彌門**  
入会年度 / 平成 29 年  
勤務先  
榊高見屋旅館

アカデミー委員会  
委員  
**杉山 達哉**  
入会年度 / 令和 3 年  
勤務先  
榊ジャパン保険企画

アカデミー委員会  
委員  
**村瀬 崇**  
入会年度 / 令和 3 年  
勤務先  
SMB C 日興証券榊

アカデミー委員会  
委員  
**山中 秀平**  
入会年度 / 令和 3 年  
勤務先  
榊荘内銀行

総務委員会  
委員長  
**畑 秀生**  
入会年度 / 平成 27 年  
勤務先  
榊テレビユー山形

総務委員会  
委員  
**斎藤 貴洋**  
入会年度 / 令和元年  
勤務先  
榊斎藤自動車解体店

事務局局長  
**今野 雄貴**  
入会年度 / 令和元年  
勤務先  
榊市村工務店

事務局次長  
**松田 卓也**  
入会年度 / 令和元年  
勤務先  
南松田会計

事務局補佐  
**進藤 正和**  
入会年度 / 令和元年  
勤務先  
大同生命保険榊

事務局補佐  
**小川 雅之**  
入会年度 / 令和 2 年  
勤務先  
榊カーサービス山形

規則・財政局長  
**高橋 慶多**  
入会年度 / 平成 30 年  
勤務先  
遠藤設備建設榊

規則・財政局  
**小松 壮一**  
入会年度 / 令和元年  
勤務先  
榊こまつ書店

## 編集後記

日頃より山形青年会議所の活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年は「汲めども尽きぬ情熱を胸に～自由と多様性溢れるやまがたの未来へ～」をスローガンに掲げて新しい一年がスタートしました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により様々な変革が起きる中で、私たち青年会議所が率先して取り組んでいくべきことは多く、メンバー一同が情熱をもって活動し、希望をもたらす変革の起点となれるような運動を展開して参ります。その様子はこの広報「蔵王」を通じて、皆様にもお伝えして参ります。

私たちの活動には関係諸団体の皆様、山形J Cシニアクラブの皆様からのご支援、ご協力が欠かせません。コロナ禍では直接お会いしてその感謝をお伝えすることが難しく大変残念であります。本年も私たちの活動に対して変わらぬご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。また、一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、平穏な日常が戻ってくることを祈念申し上げます。